

ース3回生)と参加し、大学院生やオペラ団体の研修生等が居並ぶ予選通過者15人(うち棄権1人)の中で、見事、最優秀を獲得しました。審査員からは、明るく美しい響きで、将来が期待され

ると高い評価を得ました。なお、ミラノ(イタリア)のカーザ・デイ・ヴェルディで行われる日伊交流コンサートへの出演権利も獲得しました。

■理工学研究科電子情報工学専攻都築伸二准教授の研究グループが JGN2アワード「産業活動貢献賞」を受賞

理工学研究科電子情報工学専攻都築伸二准教授らの研究グループ(注1)は、愛媛県の地元企業と共同で開発研究してきた「高精細動画コンテンツのマルチキャスト配信に関する研究」で、JGN2アワード「産業活動貢献賞」を受賞しました。この賞は、JGN2(注2)の4年間の研究開発活動において、特に優れた成果を挙げたと認められる一般プロジェクトを表彰するものです。表彰式は1月17日(木)に、秋葉原ダイビル2Fコンベンショナルホールで開催されました。

都築准教授らの研究グループは、昨年もJGN2アワード「産業活動貢献賞」を受賞しており、2年連続受賞の栄誉を得ることになりました。

(注1) 研究参加機関：電気通信大学、FAシステムエンジニアリング株式会社、高知工科大学、福井大学、徳島大学、愛媛大学

(注2) JGN2は、独立行政法人情報通信研究機構(略称：NICT)が運用している、次世代を担う超高速・高機能研究開発テストベッドネットワークです。平成20年4月からはJGN2plusとしてリニューアルし、引き続き愛媛県のアクセスポイントは本学が管理します。



授賞式



■教育学部の文系教員らが共同で執筆した「えひめ知の創造 ー愛媛大学の挑戦」が公益信託愛媛出版文化賞基金から第23回愛媛出版文化賞の第4部門賞(文化全般)を受賞

平成20年1月18日(金)、教育学部の文系教員らが共同で執筆した「えひめ知の創造 ー愛媛大学の挑戦」が、公益信託愛媛出版文化賞基金から第23回愛媛出版文化賞の第4部門賞(文化全般)を受賞しました。

近世から平成の現代にいたる愛媛の姿を各著者の専門分野を生かして論考、文芸、芸能、産業等の多彩な文化が愛媛から全国に発信された過程を検証し、様々な分野から地域の可能性について考えさせる作品であることが表彰されたものです。



学報

Vol. 532
平成20年2月号

☆ CHANNEL

学長 平成20年 新年あいさつ (平成20年1月7日) ②
学長取材日記Vol.12 あいテレビ (インタビュアー: 森さん) 平成19年11月16日 (金)
【大学職人、見つけた!】 医学部総務課広報室 中村 勝さん

☆ HISTORY

- 施設基盤部 部長 山地久司さん
- 理工学研究科 教授 小野 昇さん

☆ TOPICS

- 愛媛大学リーダーズ・スクール (E L S) 実践研修, 愛媛 F C 応援プロジェクトを実施
- 平成19年度コンシェルジュ研修会を実施
- 愛媛大学リーダーズ・スクール (E L S) 2期生合宿研修を実施
- 教育学部がフィリピン大学教育学部と学術交流協定を締結
- 松山中央高校生が医学部附属病院で看護体験学習を実施
- リスクアセスメント導入前講習会を開催
- 学生との関わり方セミナーを開催
- 外国人による「にほんご」弁論大会
- 医学部附属病院抗加齢センターが「健康・生きがいづくりフォーラム2008」を開催
- 財務分析報告会を開催
- 医学部看護学科において薬害肝炎訴訟原告武田せい子さんによる講演会を実施
- 国際交流センターが第6回フォーラムを開催
- 平成19年度第2回外国人留学生実地研修 (大山スキー旅行)
- 第2回愛媛大学南予水産研究センター設置準備講演会を開催
- 農学部で学生の安全教育「安全な化学実験のために - 化学物質の危険性と事故予防 -」を実施
- がんばってます, 幼稚園! パート4 - 愛媛大学との連携 -

☆ CONGRATULATIONS

- 理工学研究科博士前期課程1年の合田卓矢さんが情報処理学会マルチメディア通信と分散処理ワークショップにおいてベストポスター賞を受賞
- 教育学部学校教育教員養成課程音楽専修3回生の澤原行正さんが第13回K O B E 国際学生音楽コンクール声楽部門 B (大学・大学院) で最優秀賞を受賞
- 理工学研究科電子情報工学専攻都築伸二准教授の研究グループが J G N 2 アワード「産業活動貢献賞」を受賞
- 教育学部の文系教員が共同で執筆した「えひめ知の創造 - 愛媛大学の挑戦」が公益信託愛媛出版文化賞基金から第23回愛媛出版文化賞の第4部門賞 (文化全般) を受賞

☆ サテライトオフィス東京だより

学 事 人 事

アイディアリー 1月

CHANNEL

学長 平成20年 新年あいさつ (平成20年1月7日) ②

5. 社会連携, 地域貢献の新しい展開

1) 本年4月に南予水産研究センターが発足します。このセンターには3人の教員が常駐し、地域や県との連携のもとで学生・院生とともに養殖の基礎研究, 加工流通や「ぎょしょく」などに関する調査研究と教育を行う愛媛大学

の南予拠点であり, 産官学連携の一つのモデルとなるもので, 地元をはじめ県下の期待が非常に大きいことから, 目標計画をしっかりと立てて, 着実にじっくりと取り組んで欲しいと思います。

水産業に限らず農林業や, 造船や紙ーパル